



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年11月13日

上場会社名 株式会社イナリサーチ
 コード番号 2176 URL <http://www.ina-research.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中川賢司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長 (氏名) 野竹文彦

TEL 0265-72-6616

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,265	37.9	43		57		59	
2019年3月期第2四半期	917		127		142		144	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	19.79	
2019年3月期第2四半期	48.13	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	3,069	702	22.9	234.28
2019年3月期	3,242	761	23.5	254.08

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 702百万円 2019年3月期 761百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,996	15.9	104	11.7	75	25.1	63	11.5	21.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	2,998,800 株	2019年3月期	2,998,800 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	株	2019年3月期	株
------------	---	----------	---

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	2,998,800 株	2019年3月期2Q	2,998,800 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照願います。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社の主要顧客である製薬会社は、新薬開発に経営資源を集中させ、より革新的で有効性の高い医薬品開発を目指しております。また、注力領域も従来の低分子・高分子医薬品と併せ再生医療等製品、免疫療法、遺伝子治療、ワクチン等と広がりを見せております。一方、世界の医薬品開発市場は、各国の健康戦略や経済戦略も伴い着実に成長を続けており、アジア圏においても創薬市場は地道に拡大しつつあります。

このような中、第2四半期会計期間は、受託試験事業において、委託者都合によって報告書提出が翌四半期会計期間以降へ繰越となる試験が複数あり、売上は目標未達となりましたが、SEND（非臨床試験データ標準フォーマット：Standard for Exchange of Nonclinical Data）や特色ある試験系を持つ海外CRO（受託研究機関：Contract Research Organization）との連携による差別化等の営業戦略の成果によって受注が堅調に推移した他、海外からの受注も増加し、第2四半期累計期間中は高い受注残高を維持することができたことにより、稼働率も高い水準が維持されたため前年同期比で利益率は改善いたしました。

また、3か年の経営改革による各種施策により、試験現場では検査機器の更新と省力化機器の導入を図るなど作業見直しによる生産性向上と事故防止対策を実施しました。また、試験遂行と信頼性確保に不可欠な人材確保のため、処遇や労働環境の改善を図り、働きやすい職場環境づくりに努めることで、働き方改革を進めております。

環境事業におきましては、大学・民間企業の動物関連施設の多くが更新時期を迎えていることから、理化学機器販売会社等と連携した営業活動を継続しております。

当第2四半期累計期間の経営成績は、受託試験事業においては複数の大型試験が委託者都合によって報告書提出が翌四半期会計期間に延期となったものの、受注高の増加により、当第2四半期累計期間中の稼働率は高い水準が維持され利益率が改善されたこと、環境事業においては前事業年度より継続の大型工事が完成引き渡しとなったことから、売上高は1,265,466千円（前年同四半期比37.9%増）、営業損失は43,998千円（前年同四半期は営業損失127,324千円）、経常損失は57,726千円（前年同四半期は経常損失142,719千円）、四半期純損失は59,360千円（前年同四半期は四半期純損失144,353千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(受託試験)

当事業部門におきましては、他社に先行するSEND対応サービスで差別化を図るとともに、より高度化する新薬開発市場へ対応すべく機器投資を進める等体制の整備を進めてまいりました。当第2四半期累計期間においては、複数の大型試験が委託者都合にて報告書提出が翌四半期会計期間に延期されたものの、第1四半期会計期間から継続して受注が活況のため、当第2四半期累計期間を通じて高い稼働率を維持したことから利益率は改善し、売上高は1,169,089千円（前年同四半期比33.9%増）、営業損失は49,937千円（前年同四半期は営業損失122,141千円）となりました。

(環境)

当事業分野におきましては、大学・民間企業の動物関連施設の多くが更新時期を迎えることで市況は依然として活況であります。当第2四半期累計期間においては、前事業年度より継続の工事が引渡しとなった他、定期的な点検保守業務等により売上高は計画どおりとなりました。なお、複数の大型工事の発注時期が翌四半期会計期間以降へ繰越となったことから、第2四半期累計期間の受注は計画を下回りました。この結果、売上高は96,377千円（前年同四半期比115.8%増）、営業利益は5,938千円（前年同四半期は営業損失5,183千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は1,619,722千円となり、前事業年度末に比べ234,865千円減少しました。主な内訳は、借入金の返済に伴う現金及び預金の減少153,699千円、売上債権の回収による受取手形及び売掛金の減少310,970千円、受注残高の増加による原材料及び貯蔵品の増加110,605千円であります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は1,449,730千円となり、前事業年度末に比べ62,135千円増加しました。主な内訳は、有形固定資産の取得によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は1,318,622千円となり、前事業年度末に比べ125,063千円減少しました。主な内訳は、仕入債務の支払による支払手形及び買掛金の減少60,714千円、返済の実行による短期借入金の減少100,000千円であります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は1,048,252千円となり、前事業年度末に比べ11,693千円増加しました。主な内訳は、有形固定資産の取得に伴うリース債務計上等によるその他固定負債の増加61,693千円であります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は702,578千円となり、前事業年度末に比べ59,360千円減少しました。これは、四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点では計画通り進捗しており、2019年5月14日に公表いたしました数値から修正は行っておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	382,298	228,598
受取手形及び売掛金	601,193	290,223
商品及び製品	940	905
仕掛品	615,523	680,988
原材料及び貯蔵品	150,600	261,206
その他	104,031	157,799
流動資産合計	1,854,588	1,619,722
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,014,269	3,016,219
減価償却累計額	△2,441,626	△2,464,699
建物及び構築物(純額)	572,642	551,520
土地	613,912	613,912
その他	1,133,673	915,793
減価償却累計額	△990,678	△694,952
その他(純額)	142,995	220,840
有形固定資産合計	1,329,550	1,386,273
無形固定資産	9,509	15,881
投資その他の資産		
関係会社株式	7,536	7,536
その他	41,899	40,938
貸倒引当金	△900	△900
投資その他の資産合計	48,535	47,574
固定資産合計	1,387,595	1,449,730
資産合計	3,242,183	3,069,453
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	393,624	332,909
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	10,147	7,838
前受金	545,931	614,903
賞与引当金	88,484	84,156
受注損失引当金	5,061	2,718
その他	200,436	176,094
流動負債合計	1,443,685	1,318,622
固定負債		
長期借入金	900,000	850,000
その他	136,558	198,252
固定負債合計	1,036,558	1,048,252
負債合計	2,480,244	2,366,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,940	684,940
資本剰余金	600,940	600,940
利益剰余金	△523,940	△583,301
株主資本合計	761,939	702,578
純資産合計	761,939	702,578
負債純資産合計	3,242,183	3,069,453

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	917,838	1,265,466
売上原価	772,806	962,901
売上総利益	145,031	302,564
販売費及び一般管理費	272,356	346,563
営業損失(△)	△127,324	△43,998
営業外収益		
受取賃貸料	1,615	768
為替差益	63	—
補助金収入	120	150
その他	1,668	979
営業外収益合計	3,467	1,898
営業外費用		
支払利息	18,821	13,936
為替差損	—	542
その他	41	1,147
営業外費用合計	18,862	15,626
経常損失(△)	△142,719	△57,726
税引前四半期純損失(△)	△142,719	△57,726
法人税、住民税及び事業税	1,633	1,633
法人税等合計	1,633	1,633
四半期純損失(△)	△144,353	△59,360

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失 (△)	△142,719	△57,726
減価償却費	49,007	49,700
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△67,940	△4,327
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	14,037	△2,343
受取利息及び受取配当金	△2	△2
支払利息	18,821	13,936
売上債権の増減額 (△は増加)	265,701	310,970
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△191,120	△176,036
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,805	△60,714
前渡金の増減額 (△は増加)	45,989	△58,946
未払金の増減額 (△は減少)	△13,001	△6,147
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△50,957	△31,649
前受金の増減額 (△は減少)	△12,758	68,972
その他	△18,108	10,897
小計	△113,858	56,580
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△20,150	△13,415
法人税等の支払額	△18,047	△2,180
営業活動によるキャッシュ・フロー	△152,054	40,987
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,501	△20,713
無形固定資産の取得による支出	△4,418	△2,460
その他	—	△40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,919	△23,213
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△127,520	△100,000
長期借入金の返済による支出	△172,480	△50,000
リース債務の返済による支出	△23,023	△21,473
財務活動によるキャッシュ・フロー	△323,023	△171,473
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△494,996	△153,699
現金及び現金同等物の期首残高	878,527	382,298
現金及び現金同等物の四半期末残高	383,530	228,598

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	受託試験	環境	合計(注)
売上高			
外部顧客への売上高	873,183	44,654	917,838
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	873,183	44,654	917,838
セグメント損失(△)	△122,141	△5,183	△127,324

(注)セグメント損失(△)の合計額は、四半期損益計算書上の営業損失であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	受託試験	環境	合計(注)
売上高			
外部顧客への売上高	1,169,089	96,377	1,265,466
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,169,089	96,377	1,265,466
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△49,937	5,938	△43,998

(注)セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は、四半期損益計算書上の営業損失ではありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。